

小規模事業者が減ると何が起こるのか

東京商工リサーチの調査によれば、2015年から介護事業所の倒産件数が急増し、2016年に入って過去最高ペースを記録していることが明らかになりました。特に、規模が小さい事業者の倒産が目立っているといえます。

◆ 小規模事業所の減少を利用者視点で考える

介護保険サービスは社会保険事業ですから、保険料負担に見合った「権利」を受けられているのかが、利用者にとっては重要な意味をもちます。そこで、たとえば「地域から小規模事業者がなくなる」という現象を、利用者視点で考えてみることにしましょう。

利用者にとって小規模事業所がなくなることへの不安は、サービスの絶対数が減るだけでなく、以下のような点もあげられます。

- (1) (施設・通所の場合) 大規模よりも小規模な環境の方が落ち着けるといった「選択肢」が狭くなる。
- (2) 小規模だと初期投資が少ない分、人口密集地への展開が期待できるが、その「選択肢」も失われやすい。
- (3) 小規模だとトップの顔の見えやすさが「信頼感」につながるケースもあるが、その「選択肢」も危うくなる。

以上のような「選択肢」は、保険料負担を行なう利用者にとって、大切な権利行使の機会にあたります。大規模事業者が中心となった場合に、この点が保障されるのでしょうか。

◆ 大規模法人が小規模事業を展開する可能性

大規模法人であっても、地域への小規模事業所展開ができないわけではありません。たとえば、サテライト型の事業所を多数地域に展開していくことは可能です。経営基盤がぜい弱な小規模法人を吸収し、大規模法人の傘下での運営継続のパターンも考えられます。

ただし、小さな事業所の地域展開を増やすには、各事業所の基準を満たす人員が必要です。人口密集地への展開を増やすとなれば、法人全体が負担する家賃コスト等が増える問題もつきまといえます。法人経営という視点では、それなりの戦略が求められるわけです。

介護保険事業の社会性を考えた場合、「経営が厳しくなるから、やはり撤退する」という安易な考え方は許されません。地域ニーズにきちんと応え続けることは、介護業界に進出している法人としては重要なコンプライアンスの一つであるのは間違いないからです。

この点をいわゆる市場原理に照らした場合、小規模事業所の地域展開にかかる戦略には「投資」という考え方が浮かんできます。つまり、小規模展開そのものの高収益は期待できなくても、それを「投資」としてとらえた場合に、法人全体に寄与する「将来的な回収」が期待できるかどうかということです。

◆ 大規模法人とそれを指導する国の倫理観

真っ先に浮かぶのは、事業の寡占化で「利用者に自法人のサービスを使ってもらいやすくなる」という点です。しかし、このモデルは「利用者の困り込み」につながり、結果として利用者の選択権をおかしかねません。

となれば、何を目的とした「投資」とするのかといえ、地域ニーズにきちんと応えることで、住民の介護不安を解消するという社会的使命にあります。ビジネスとしての「回収」があるとなれば、法人への地域の信頼感が増し、「困り込み」ではなく「自ら進んでその法人のサービスを利用する人」が増えることです。また、小規模事業所の展開によって、たとえば認知症の人の BPSD 緩和のすそ野が広がれば、「入口となるケア」の負担を軽減できます。地域全体で人材の定着が進めば、キャリアの底上げにもつながるでしょう。

問題は、その道筋が一朝一夕とはいかず、法人の先を見通した高いビジョンと粘り強い継続性が必要だということです。つまり、それだけ大規模法人の「受け皿」としての覚悟が問われるわけです。そして、社会保険制度のあり方からすれば、その指導力は国が発揮するべきものでしょう。それがままならない中では、良質な小規模法人がきちんと生き残れるだけの報酬設定が必要です。劣悪な事業所を淘汰するのであれば、独立・中立性を強化したケアマネなどからの告発を受け付ける窓口の拡充を図るなど、報酬設定以外の知恵はまだまだ働かせる余地はあるはずです。

////////////////////////////////////

〒460 - 0006

愛知県名古屋市中区葵 1 丁目 27 番 3 号

染木第 2 ビル 4 階 403 号室

社団法人日本福祉車両未来研究会

電話 052 - 937 - 2941

FAX 052 - 937 - 2940

Mail info@294mirai.com

<事務局 吉川 剛>

////////////////////////////////////

会員企業名
〒239-0842 横須賀市長沢6丁目30番4号 有限会社ヤマヨク保田商会 電話 046(849)3210 FAX 046(849)7147